群馬県立館林特別支援学校　学校評価一覧表（令和５年度版）

（様式）

羅針盤			関係分掌等	方策	点検・評価		達成度	達成状況の分析	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目			自己評価	外部アンケート等	総合			
Ⅰ　幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 児童生徒は、充実した学校生活を送っていますか。	① 児童生徒が充実した学校生活を送っている。（目標値100%）	教務	① 個別面談や学校行事等の機会や連絡帳で保護者からの話や意見を聞き、児童生徒にとっての学校生活がよりよいものになるようにしていく。						
	2 保護者に学校の教育活動の様子について伝え、理解をしてもらっていますか。	② 学校から出す通知や一斉連絡メール、電話連絡等により、学校からの様々な連絡が保護者にタイミングよく確実に届いている。（目標値100%）		② 学校からの連絡や通知をするタイミングや時期に配慮するとともに、確実に連絡が届くように確認を行い、連絡の不備が起こらないようにする。						
		③ 保護者は、学校からの各種たよりや毎日の連絡帳によって、学校の教育活動の様子を理解している。（目標値100%）		③ 各種たよりや連絡帳を書く際は、内容や表現等に十分気を配り、分かりやすく丁寧な情報伝達を行うようにする。また、保護者がどのような内容を知りたいと思っているかということにも留意する。						
		④ 保護者の協力が必要な学校行事について、連携を取りながら進めている。（目標値100%）	渉外	④ 各行事において、活動内容の周知に努める。活動後のアンケート結果や活動の様子をWebページ等を通じて情報共有をおこなう。						
	3 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	⑤ 居住地校交流について、実施した保護者は、子どもにとって有意義な活動であったと感じている。（目標値100%）	相談支援	⑤ 居住地校交流を実施する場合には、相手校との打合せを丁寧に行い、子どもたちの実態に合った、有意義な活動が行えるように計画する。終了後、相手校とは総括を行うとともに、保護者とは、活動の様子や評価等について情報共有を行うことで、よりよい交流につなげる。						
Ⅱ　地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	4 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	⑥ 地域の幼保、小、中学校からの特別支援教育に関する相談や指導・支援、研修会への講師要請に対応したり、授業公開・研修会を行ったりして、地域における特別支援教育の中核校としての役割を十分に果たしている。（目標値100%）	相談支援	⑥ 特別支援教育に関する地域からの相談にきめ細かく対応するとともに、校内の各係とも連携しながら、学校公開や授業公開を実施する。また、職員の専門性を高められるよう、指導上気付いたことは、係が中心となってアドバイスし合う。						
Ⅲ　幼児児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	5 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑦ 保護者は、個別の指導計画の目標設定やその手立て、達成状況に満足している。（目標値100%）	学習指導	⑦ 職員に個別の指導計画の目標や手立てなどを作成するための資料を配付し、説明を行う。また、保護者に対して根拠をもった説明ができるように、職員にアセスメントについて説明したり、必要に応じて学習会を開いたりする。						
		⑧ ICT機器を活用して、児童生徒の学習意欲を喚起するとともに、学習効果を高めている。（目標値100%）	情報	⑧ 児童生徒が学習で有効活用できるように、ICT機器の環境整備を行ったり、研修部と連携しながら職員への研修・提案を実施したりする。						
Ⅳ　特別支援教育の専門性の向上に努めていますか。	6 校内研修等を計画的に実施し、特別支援教育の専門性の向上に、学校全体で取り組んでいますか。	⑨ 学習会や講演会等で得られた知識や技術を生かし、指導内容や指導方法の改善に繋げている。（目標値100%）	研修	⑨ 職員のニーズや研修テーマに沿った内容で学習会や講座を計画したり、職員がお互いの教材・教具を見合う機会を設けたりする。						
		⑩ 今年度、校内全体で取り組んでいる授業改善について、教職員それぞれが十分な成果をあげることができている。（目標値100%）		⑩ 学習指導要領を活用し、指導の根拠を明らかにして指導案を作成したり、ICTを取り入れた授業を行ったりして改善授業を行う。また、日々の授業に生かせるよう、ICTに関する研修を計画する。						
Ⅴ　児童生徒の健康の増進に努めていますか。	7 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑪ 児童生徒の健康の増進について、家庭訪問、個別面談、電話連絡、連絡帳、各種たより等を通して情報交換を行い、早急かつ適切な対応をしている。（目標値100%）	保健給食	⑪ 家庭訪問、個別面談、電話連絡、日々の連絡帳で保護者との情報交換を行い、教職員間の連絡、報告を密にし、迅速な対応をする。必要に応じて、全職員へ情報を周知し、必要な配慮を行う。毎月配布される保健だよりの重要な内容について朝会等で情報共有を行う。						
		⑫ 危機管理対応マニュアルを理解し、児童生徒に病気やけが等の緊急事態が発生したとき、適切な対応をとることができる。（目標値100%）		⑫ 危機管理対応マニュアル冊子内の「けが等の緊急事態への対応マニュアル」を教室に掲示すると共に、様々なケースを想定した緊急事態対応訓練などを通して理解を深めていく。						
Ⅵ　安全な学習環境の確保に努めていますか。	8 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑬ 校内の施設設備を点検して安全を確保するとともに、美化活動に十分、努めている。（目標値100%）	管理	⑬ 毎月確実に安全点検を実施し、修繕箇所などがあれば早急に対応していく。火曜日、金曜日の朝清掃を朝会終了後に全体に呼びかけていき、全教職員で校内美化に取り組むよう周知していく。						
		⑭ 危機管理対応マニュアルを理解し、地震、水害等の自然災害が発生したとき、適切な対応をとることができる。（目標値100%）		⑭ 緊急時に適切に対応できるように普段から全教職員で危機管理対応マニュアルの理解を深めておく。また避難訓練などの際は、当日の朝会で対応策をしっかり再確認していく。						
Ⅶ　将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	9 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑮ キャリア教育の視点を踏まえて、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成したり、授業づくりを行ったりしている。（目標値100%）	進路指導	⑮ キャリア教育の視点を踏まえた個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成や授業づくりができるように、職員研修を開催したり、情報提供を行ったりしていく。						
	10 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	⑯ 保護者に対し、学校から提供されるキャリア教育に関する情報を伝え、児童生徒の将来について十分な話し合いを行っている。（目標値100%）		⑯ 発達段階に応じた自己肯定感を高めるキャリア教育について保護者へ十分な情報が伝えられるよう、キャリア教育全体計画などをWebページに掲載したり、キャリア教育通信を発行したりする。						
Ⅷ　児童生徒の生活上の課題を把握し、的確に対処していますか。	11 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑰「学校いじめ防止基本方針」について、保護者に示し協力を得ている。（目標値100%）	生徒指導	⑰ 保護者に「学校いじめ防止基本方針」やいじめ防止についての情報提供を行っていく。						
		⑱ いじめや問題行動に対して、十分な取組や対応ができている。（目標値100%）		⑱ いじめの実態把握やいじめの防止等について教職員の理解を深める。児童生徒が自分や友達を大切にする環境を整える。						